

さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見よう
ルカ2章15節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
下 窄 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148



12月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：苦しみの体験が、他の苦しむ人への助けとなる
- ②宣教の意向：キリストに心を開く
- ③日本教会の意向：子どもたちの救い

死者の月、追悼ミサ行う
11月7日(浦上教会)
亡くなったすべての教区民のため、浦上教会で午後3時から長崎教区民追悼ミサが行われた。司式した高見三明大司教は説教の中で、「わたしたちは亡くなった人たちの霊的に結ばれていて、亡くなった時はこの世にいた時を超えるきずなを感じる事ができる」と語り、そして、「わたしたちは死ぬ時に、この体をもつて何を行ったかを問われる。わたしたちの考え、言葉、行いはすべて愛に満ちたものでなければならぬ。愛に生かされている時、わたしたちはすでに永遠の命を生きていることになりまう」



と説き、この生き方が多くの人たちに希望や愛を与えられるようにと祈りを呼び掛けた。
11月9日(赤城墓地)
午前11時から、長崎市の赤城聖職者墓地で、司祭約40人と信者らが参加のもと、教区聖職者追悼ミサが行われた。ミサでは、長崎で亡く

なつた宣教会、修道会の司祭、また他の教区で働かれ亡くなった司教、司祭のために祈りがささげられた。高見三明大司教は説教の中で、神のもとに帰っていった聖職者たちが生前どのようにに生き、愛を貫いたかをしのぶとともに「亡くなった司祭そして今生きている司祭のために祈ってください」と語った。
ミサに参加した信徒は「わたしたちの教会そのものが、司祭、修道者、信徒の共同体で成り立っていることを再認識できた。大司教さまが話されたように、互いの信頼関係を築くことの大切さ、それは日々の生活の中でつくり上げていかねばならない」と話した。



あたたかな心、希望のうちに主のご降誕を迎えましょう

待降節と降誕節

待降節は降誕祭(クリスマス)の4週間前の日曜日から始まります。待降節には、まず救い主メシアを待ち望む旧約時代を想起するため、旧約の預言者や希望を新たにすることを記念し、主の公現、主の洗礼を記念し、イエス・キリストの公生活の開始までの生涯の神秘を記念します。(カトリック中央協議会発行『カトリック教会の教え』から)

牢屋の窄殉教祭



10月31日(日)五島市田ノ浦町の浜脇教会(主任司祭・下口 勲師)で牢屋の窄殉教祭ミサが行われた。今回は、台風の影響で雨が心配されたため、急きよ場所の変更となった。



下口神父から殉教者を思い、做うよう説教があった。また最後に、牢屋の窄殉教地にある碑文の内容が朗読され、殉教者に思いを寄せ祈りをささげる1日となった。

日本二十六聖人記念館リニューアルオープン

改装工事を行っていた長崎市西坂町の日本二十六聖人記念館が11月13日リニューアル・オープンし、テープカットの後、一般公開された(写真)。



品をもつて26聖人の美德をたたえそのメッセージを伝えること、聖フランシスコ・ザビエルの渡来から信仰の自由が認められるまで、デ・ルカ・レンゾ館長(イエズス会の案内を受けた来館者は、ポルトガル語で記された中浦ジュリアン自筆の手紙や、出入り可能な中庭のトマス金鍔次兵衛の像(本田利光氏作)など数々の展示品に見入っていた。レンゾ館長は、「より現代的に通じるものとなつていきます」と、大きな宝物を再発見し、次の世代にも伝えていくことができるようにと話した。

開館は年末年始(12月31日・1月2日)を除く9時~17時。入館料は一般500円、中学生300円、小学生150円。20人以上の団体割引あり。

信仰を伝えた先人たちのび枯松神社祭(長崎市中黒崎町)

11月3日、長崎市中黒崎町の枯松神社で第11回

「枯松神社祭(同実行委員会主催)が行われた。カトリックや旧キリシタンほか約1500人が集まり、外海キリシタンたち

の信仰を指導した外国人宣教師サン・ジワン様と今日に信仰を伝えた先祖たちの慰霊のために、ミ

方のカトリック教会と旧キリシタン。特にこの黒崎、この枯松神社を通じてひとつになることがで

きるように、そして一致の祈りをささげることができるようになる」と結んだ。



ミサ後、旧キリシタン代表の村上茂則師がオラショを奉納。講演では野下千年師(中町教会主任司祭)が「外海地方ゆかりの福者」と題して188福者の人、トマス金鍔次兵衛神父について語った。県外からの参列者もあり、宗教・宗派を超えて先人たちの遺徳をしのぶ1日となった。

4人の新司祭誕生 南山教会で叙階式(神言修道会)



菊地司教の両隣に立つ4人が新司祭

10月16日、名古屋の南山教会で4人の神言修道会会員が菊地 功司教の司式により司祭に叙階された。新司祭は皆海外出

身者で、それぞれの家族も来日し、喜びを共にした。叙階されたのは、インド出身のジョゼフ・パサ

屋、長崎の西町教会と聖ルドヴィコ神学院で、助祭や神学生として司牧実習をし、叙階式当日はお世話になった教会や外国籍の信徒

たちもお祝いに駆け付けた。同修道会は1980年代からOTP(Ordained Training Program)という制度を確立し、神学生時代に希望する国で語学と文化を学び、その上で自分の宣教地を決定する仕組みを採用している。叙階式に参加した西町教会の信徒は、「2人の神父様はかつて西町で司牧実習をされたので、いつか司祭として活動をしていただきたいと心から願っている。わたしたち信徒は司祭によって養成され、またわたしたちが司祭養成の役割を持っているといわれる。4人の新司祭が生涯司祭としての任務を果たしていけるよう祈り支えていきたい」。

大浦教会のクリスマスミサ 時間変更のお知らせ

12月24日(金)に国宝大浦天主堂で行われる大浦教会のクリスマスミサは、開始時間が例年の午後9時から、今年は午後8時に変更になりました。開門は午後7時です。

の回数が減ったりすることもあり得る。それでも神への信仰と人々への愛を実践する、恵みに満ちた共同体でありたい。(S)

感謝と喜び 本原教会創立50周年



50周年は「伝えよう、マリアの山から信仰の喜びを」。今、はじまる百年への道をスローガンに、高見三司大司教司式で、長谷川潤フランシスコ会日本管区長はじめ15人の司祭、30人近くの出身シスター、多くの信徒らが参加し、感謝のミサから始まった。

場が設けられ、互いに感謝と喜びを満喫した。イベントのフィナーレでは、司祭館屋上からのビニールで丁寧に包まれたもちまきがあつた。11月12日は聖堂で記念コンサートが開かれ、今後、記念誌も発行される予定。創立50周年を迎えたこの日から本原教会は「百周年への第一歩」を力強く踏み出した。

10月24日、本原教会(主任司祭・谷津良勝神父)創立50周年記念を祝うミサと祝賀会が行われた。自然豊かなマリアの山を有し、毎年6月の聖体の祭日に行う「聖体行列」を誇りとする本原教会の

ミサ後の祝賀会では、季節の花で飾られたテーブルに手作りの料理、子どものためのゲーム場、大人の飲酒コーナーなど趣向を凝らした会



10月19・21日、新潟教会で日本カトリック女性団体連盟(日力連)本年度第2回理事大会が開かれ、長崎教区からの3人を含む20余人が出席した。日力連は、基本テーマに「家庭・召命・いのち」を掲げ、信仰と召命の苗床となる家庭、いのちを育む家庭の聖化と福音化の推進に努めている。今回の理事会では、「いのちを守る運動基金」のあり方や今後の活動などについて討議され、本年度も全国のDV(家庭内暴力)被害者である女性や子供たちを保護し、自立への支援を行っている。

日力連理事会 新潟教会で開催

子どもたちの 健やかな成長に感謝



七五三のお祝い

11月は教会でも七五三をお祝いするところは多いが、うみのほし保育園(長崎市石神町)でも11月12日、七五三のお祝いが行われた。聖歌を歌い、共に祈りをした後、司祭が祝福した飴をいただいた子どもたちは、皆うれしそうな笑顔を見せていた。

る施設に支援金を送るこ
とが決定された。また、
育もう、多国籍の信徒と
共に」と決定した。

礼拝会の狩野敦子
シスターを講師に
教会の視点から
「DVをどのよう
に捉えますか」の
研修を行った。
講演内容などの
詳細は、いのちの
運動活動報告「メ
イチちゃんだより」
に掲載する予定。
3日目は来年5
月の茨城総会の
テーマが討議され
「豊かないのちを
共に」と決定した。

月4日(土) 5日(日)
月18日(土) 19日(日)
月24日(金) 26日(日)
月30日(木) 20日(日)
月2日(日) 初日17時
終日の朝食または昼食後
TEL 095(821)4577

香典返し お礼とご報告

長崎大司教区
●白濱家子供一同様
(城山)
●故シモン白濱松次郎様
長崎コレジオ
●樫山純二様(大浦)
●故ラウレンシオ
●樫山一様
●山脇明子様(香焼)
●故バウロ山脇 等様
長崎カトリック神学院
●大田和子様(飽の浦)
●故ミカエル大田義一様
●山脇明子様(香焼)
●故バウロ山脇 等様
右の方々から神学生養
成のために、香典返しに
代えてご芳志を賜りまし
た。お礼とご報告を申し
上げますとともに故人の
ごめい福を心からお祈り
申し上げます。

司祭研修会 基本的人権について学ぶ

11月8日
に長崎大司
教館で教区
主催の司祭
研修会「司
祭職の権威
と基本的人
権」が開催
され、64人
の司祭が参
加した。講
師は、上智
大学神学部
教授でイエ
ズ会司祭



とめられた『人権シンポ
ジウム記録集・すべての
人々の人権を大切に』に考
察を加え、日本のカトリ
ック教会の司牧的課題で
ある人権について解説し
た。また、カトリック哲
学・神学の見地から人権
について解説

論付けた。
司祭の中から、人権を
尊重することと司祭の権
威の行使との間にある緊
張関係について質問が
あつたが、光延師は、司
祭の権威は「仕える」こ
とにあるとし、人権を尊
重することこそ、司祭の
権威の行使であることを
再確認することとなった。
司祭の中からは、久し
ぶりに学生に戻った気が
した、という感想も聞か
れたが、「人権」という
キーワードを通して、司
祭と信徒、司教と司祭と
の信頼関係を振り返る機
会となった。

ご存知ですか?「解 宗連」カトリックセ ンターで会議開催

11月16日、「部落解放
にとりくむ長崎県宗教教
団連帯会議」(略称「解宗
連」)がカトリックセン
ターで開かれた。カト
リックからは福音化推進
部部落問題対応部会が参
加。

解宗連は、部落問題に
取り組む宗教者有志が中
心となつて1999年に
結成。ほぼ全国の都道府
県に同様の組織があり、
「同和問題にとりくむ宗
教教団連帯会議」(略称
「同宗連」)と称している。



このうち特に九州地区
(沖縄を除く7県)の同
宗連は、毎年5月開催の
『人権社会確立全九州研
究集会』の宗教分科会を
主管している。今年の宗
教分科会は5月28・29日

教区本部事務局 リニューアル

11月15日(月)、これま
で複数の部屋に分かれて
いた教区本部事務局がカ
トリックセンター2階東
側にワンフロア化され、



移動に先立つて小瀬良
明本部事務局長による祝
福式が行われ(写真)。
「ワンフロア化を機に、
よりいっそう、神さまが
望まれる方向に進んでい
くことができるよう願ひ
祈つてまいります」と
と職員に呼び掛けた。

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送
も致します)

貨物保険有り
●一般引越 ●小荷物
●荒ゴミ捨て ●遠距離
●学生引越 ●ピアノ運搬

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水浦運送

シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)(847)7151
844-1420

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地

浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行

本社 長崎市つつじが丘5-1-15 (TEL)095-839-0374

加工工場 諫早中核工業団地



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

マイホームの美容と健康に!

(有) 山川 塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ベトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5
TEL(0956)49-3330 FAX(0956)49-8729

戦後65 年 からの種・パン種

「被爆マリア像」の平和巡礼

片岡千鶴子

長崎教区が企画した被爆65年「平和巡礼」は「被爆マリア像」の同行によって「新たな平和の巡礼になった」と思う。この巡礼で「被爆マリア像」は、バチカンでは教皇ベネディクト16世に迎えられ、スペイン国ゲルニカの空爆犠牲者追悼式では人々と共に平和を祈った。さらに「被爆マ



1937年長崎市生まれ。キリシタン史研究家片岡弥吉氏の長女。本原町で家族と共に被爆。現在、長崎純心大学長、純心女子学園理事長。

リア像」は高見大司教と共にニューヨークに渡った。国連でNPT再検討会議が開催されている機会に平和活動を行うのが目的であったという。被爆マリア像」が仲介と

リヤ像」は高見大司教と共にニューヨークに渡った。国連でNPT再検討会議が開催されている機会に平和活動を行うのが目的であったという。被爆マリア像」が仲介と

のきずなが政治や経済の摩擦を超える力を持つことを知らしめたのであった。それから83年の歳月を経て長崎の「被爆マリア像」は同じ力を発揮した。長崎も広島もこの65年間、二度と原爆の悲惨な世界が体験しないようにと世界平和の構築を訴え続けているが、同時にこの訴えが世界に届かない悲しさも味わい続けている。現実には「原爆投下」「核兵器廃絶」についてもさまざまな意見があることをわがしは知っている。しかし、それでも、米国人の誇りである聖パトリック大聖

①被爆マリア像、教皇の祝福受ける バチカン広場 (4/21)

ローマ・スペイン平和巡礼に参加した34人の巡礼団は4月21日バチカンを訪れ、教皇に被爆マリア像を紹介し、教皇は十字を切って祝福した。



②パンギムン国連事務総長 浦上教会を訪問 (8/5)

8月5日、長崎市を訪れた潘基文(パンギムン)国連事務総長と田上富久長崎市長は、高見大司教の案内で浦上教会を訪問、被爆マリア像と再会した。

教区広報委員会が選んだ 2010年5大ニュース

③江袋教会落成・献堂式 新上五島町 (5/9)

2007年、火災で焼損した江袋教会は、5月9日高見大司教、県教育長、新上五島町長、江袋教会信徒代表によるテープカットで落成・献堂式を行った。



⑤マザー・テレサ映画祭 カトリックセンター (8/21~29)



Photo 女子パウロ会

カトリックセンター初の試みでマザー・テレサ生誕100年を記念して「映画祭」を8月21日~29日まで開催した。マザーの愛に満ちた活動の軌跡に観客は感動した。11月21日はカトリック映画賞受賞作品「風のかたち」を上映した。病気を体験した子どもたちが弱さを強さに変えていく姿。医師やボランティアたちが病気の子どもとかわることのできる姿を描いていた。

④サン・ロレンソ教会 400 周年 中町教会 (8/10)



豊臣秀吉が朝鮮に出兵し、日本に連れ帰った朝鮮人は、キリスト教の教えに触れ、その多くは長崎で洗礼を受けた。彼らは長崎の高麗町に教会を建て、聖ラウレンチオに教会を奉献した。このサン・ロレンソ教会の献堂400周年を記念し8月10日、中町教会で日韓の司教・司祭、信徒らが集い、ミサをさげした。

キリシタン洞窟ミサ 新上五島町若松島

11月7日快晴のもと、新上五島町の若松島キリシタン洞窟に信者ら100余人が集い、ミサが行われた。説教の中で鶴崎伸也神父(土井ノ浦教



写真の左上がキリスト像(写真提供 峰脇英樹氏)ミサ後は洞窟巡りや写真撮影をし、昼食会では土井ノ浦・大平・有福の地区婦人会が準備した手料理を皆でいただいた。参加者は「大空のもと大海原での殉教者ミサに参加でき、感謝、感激でした」と語った。

ロザリオ祭 聖母の騎士

聖母の騎士(長崎市本河内)では、ロザリオの最後の日曜日にロザリオ祭が行われている。今年10月31日、待者を先頭に花まきの子どもたち、司祭団、参加者が続き、司式司祭がルルドに



長崎からの巡礼団 不動山殉教者 祈念祭に参加 佐賀県嬉野市 11月14日教区主催「ながさき巡礼月間」企画の1つ、「大村巡礼・不動山殉教者祈念祭参加巡礼」が実施され、参加者20人が早朝カトリックセンターを出発した。一方、13~14日に行われた長崎中



地区の平戸・生月・不動(神父)と、植松教会巡礼団ほか多くの人が不動山入りし、ミサ会場の不動ふれあい体育館に集った。14時からの不動山殉教者祈念祭(佐賀地区カトリック教会主催)写真には福岡教区の信者らと長崎の巡礼団が共に参加。主司式を務めた宮原良治福岡司教は説教の中で、「殉教者たちが信仰を貫いた場所。ここはそ

の意味でも『不動』であり、動かないものがあり、動かさないものがあります。400年前の信仰の神髄に思いをはせながら、キリストと同じ生き方をした殉教者のように、勇氣・希望・忍耐をもって、力強い信仰の恵みを伝えましょう」と話した。ミサ前後に巡礼者らは垣内史跡、太刀洗川史跡なども巡り、それぞれ帰路についた。

着やすく脱ぎやすい 「尊厳のある服」 —恵の丘で展示販売会—

10月26日、長崎市三ツ山町の養護老人ホーム恵の丘で、着やすく脱ぎやすい洋服を目指したユニバーサル・デザイン「尊厳のある服」と製作した。服を着たまま「注射が打てる」「血圧が測れる」「車椅子に座ったままズボンが履ける」などの特徴も持っている。恵の丘では、入所者や職員ら20余人が衣服を手にとったり試着したりなど売れ行きも好評。展示販売会の実現には教区福音化推進部が協力した。来年2月ごろ、カトリックセンターでのファッションショーも計画。



厳のある服」の展示販売会が開かれた。このブランドを企画したのは愛知県の「名美」アパレル事業部。高齢化

長崎市梁川町 6-17 岩永ビル